

蔵王町 橋梁長寿命化計画[個別施設計画]

東根大橋 個別施設計画

1. 対象施設

蔵王町が管理する橋梁は、平成30年12月末時点で105橋あり、橋長2m以上15m未満は70橋、橋長15m以上は35橋あります。

(単位: 橋)

管理橋梁数	105
橋長2m以上15m未満	70
橋長15m以上	35

2. 計画期間

定期点検(5年に1回)サイクルを踏まえ、予防保全型、対処療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定
・平成30年度～令和3年度

3. 対策の優先順位の考え方

- ・点検結果に基づく施設全体の判定区分
- ・各部材の損傷程度
- ・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
- ・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。

優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

- ・点検・診断年度: 平成27年度
- ・判定区分: II 判定
- ・判定区分Ⅲ以上の各部材: ー

5. 対策内容と実施時期

(対策内容) 点検、診断結果に対応する主な対策内容を列記

- ・断面補修
- ・防護柵交換
- ・再塗装
- ・支承部補修

(実施時期)

- ・平成30年度、令和2年度

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり

架替と修繕のコスト比較

架替	140,000千円
修繕	59,000千円

6. 対策費用

・計画期間内における必要な対策費用(対策内容毎の対策費用及び総額)の概算を整理

部材名		判定区分	変状の種類 (Ⅱ以上を記載)	対策内容	実施時期 (年度)	対策費用 (千円)
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	再塗装	2020	5,000
	横桁	Ⅱ	腐食	再塗装	2020	5,000
	床板	Ⅱ	ひびわれ	ひびわれ補修	2020	13,500
	支承部	Ⅱ	腐食	支承部補修	2020	500
	伸縮装置	Ⅱ	防食機能の劣化	伸縮装置交換	2018	17,000
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	断面修復	2018	3,500
その他		Ⅱ	腐食等	防護柵交換等	2018	14,500
					総額	59,000

蔵王町 橋梁長寿命化計画[個別施設計画]

相ノ澤橋 個別施設計画

1. 対象施設

蔵王町が管理する橋梁は、令和6年12月末時点で103橋あり、橋長2m以上15m未満は68橋、橋長15m以上は35橋あります。

(単位:橋)

管理橋梁数	103
橋長2m以上15m未満	68
橋長15m以上	35

2. 計画期間

定期点検(5年に1回)サイクルを踏まえ、予防保全型、対処療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定
・平成30年度～令和5年度

3. 対策の優先順位の考え方

- ・点検結果に基づく施設全体の判定区分
- ・各部材の損傷程度
- ・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
- ・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。

優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

- ・点検・診断年度: 令和2年度
- ・判定区分: II 判定
- ・判定区分Ⅲ以上の各部材: ー

5. 対策内容と実施時期

(対策内容)点検、診断結果に対応する主な対策内容を列記

- ・断面補修
- ・防護柵交換
- ・再塗装
- ・支承部補修

(実施時期)

- ・令和12年度

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり

架替と修繕のコスト比較

架替	120,000千円
修繕	45,000千円

6. 対策費用

・計画期間内における必要な対策費用(対策内容毎の対策費用及び総額)の概算を整理

部材名		判定区分	変状の種類 (Ⅱ以上を記載)	対策内容	実施時期 (年度)	対策費用 (千円)
上部構造	主桁	Ⅱ	防食機能の劣化	再塗装	2021	4,000
	横桁	Ⅱ	防食機能の劣化	再塗装	2021	4,000
	床板	Ⅱ	鉄筋露出	ひびわれ補修	2021	10,000
	支承部	Ⅱ	腐食	支承部補修	2021	500
	伸縮装置	Ⅱ	腐食	伸縮装置交換	2021	12,000
下部構造		Ⅱ	ひびわれ、鉄筋露出	断面修復	2021	500
その他		Ⅱ	腐食等	防護柵交換等	2021	14,000
					総額	45,000

蔵王町 橋梁長寿命化計画[個別施設計画]

東根1号橋 個別施設計画

1. 対象施設

蔵王町が管理する橋梁は、平成30年12月末時点で105橋あり、橋長2m以上15m未満は70橋、橋長15m以上は35橋あります。

(単位: 橋)

管理橋梁数	105
橋長2m以上15m未満	70
橋長15m以上	35

2. 計画期間

定期点検(5年に1回)サイクルを踏まえ、予防保全型、対処療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定
・平成30年度～令和3年度

3. 対策の優先順位の考え方

- ・点検結果に基づく施設全体の判定区分
- ・各部材の損傷程度
- ・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
- ・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。

優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

- ・点検・診断年度: 平成27年度
- ・判定区分: II 判定
- ・判定区分Ⅲ以上の各部材: 下部構造

5. 対策内容と実施時期

(対策内容) 点検、診断結果に対応する主な対策内容を列記

- ・ガス切断
- ・防護柵交換
- ・再塗装
- ・ひび割れ補修

(実施時期)

- ・令和元年度

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり

架替と修繕のコスト比較

架替 55,000千円

修繕 18,000千円

6. 対策費用

- ・計画期間内における必要な対策費用(対策内容毎の対策費用及び総額)の概算を整理

部材名		判定区分	変状の種類 (Ⅱ 以上を記載)	対策内容	実施時期 (年度)	対策費用 (千円)
上部構造	主桁	Ⅱ	防食機能の劣化	再塗装	2019	1,500
	横桁	Ⅱ	防食機能の劣化	再塗装	2019	1,500
	床板	Ⅱ	ひびわれ	ひびわれ補修	2019	500
	支承部	Ⅱ	腐食	支承部補修	2019	500
	伸縮装置	Ⅱ	変色・劣化	伸縮装置交換	2019	6,000
下部構造		Ⅲ	遊間の異常	ガス切断	2019	500
その他		Ⅱ	劣化等	防護柵交換等	2019	7,500
					総額	18,000